



ASAHI KOGYOSHA

# ASAHI-VISION 2050

# Philosophy

## 新たな企業理念とASAHI-VISION

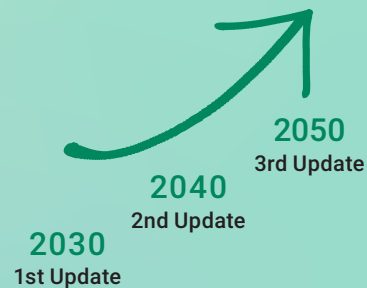
2025年4月3日、100周年を迎える私たち朝日工業社は、グループとしての新たな企業理念「ASAHI-PHILOSOPHY」を制定しました。その理念の中核となる自社の存在意義（＝パーパス）を「情熱と技術で、世界をもっと最適に」と定め、これを基に次の100年に取り組んでいきます。

長期ビジョン「ASAHI-VISION 2050」は、この理念の実現に向けた指針、方向性を示すものとして策定しました。本ビジョンの達成にあくなき挑戦を続け、企業としての持続的成長を実現しながら、社内外から「信頼され必要とされる会社」であり続けたいと思います。



### ASAHI-VISION 2050

実現に向けた  
3つの“Update”

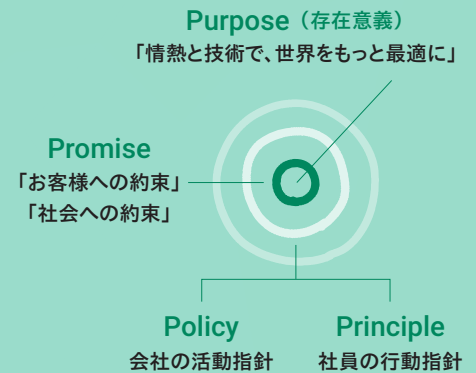


企業理念  
ASAHI-PHILOSOPHY

ASAHI-VISION  
2050

中期経営計画

単年度事業計画

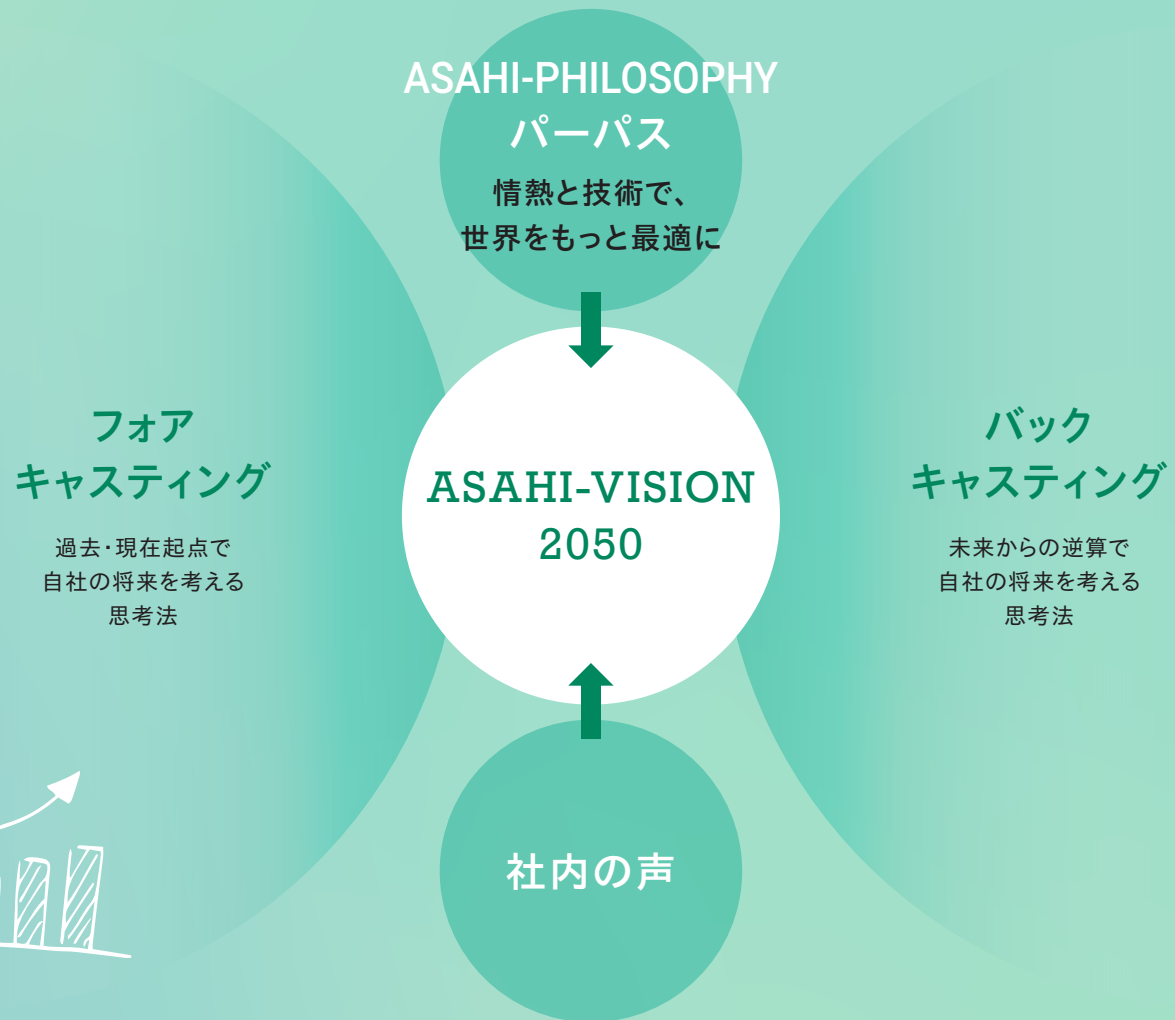


# Background

## ASAHI-VISION アップデートの背景

創立100周年とその先を目指した長期ビジョン「ASAHI-VISION 100」から次の100年の礎となる「ASAHI-VISION 2050」へと、次の4つの着眼点を基に検討し、ビジョンのアップデートを行いました。

- ① ASAHI-PHILOSOPHY、  
パーパス（存在意義）
- ② 社内の声  
（社内アンケート等）
- ③ フォアキャスト  
（現在の社会環境と当社の現状・課題）
- ④ バックキャスト  
（将来的な社会と経営における環境変化・予測）



# Business Climate

## 朝日工業社を取り巻く2050年の経営環境

### 世界/日本における2050年の経営環境

「人」「技術」「自然」が調和するサステナブル社会



#### サステナブルな社会の確立

- カーボンニュートラルな世界
- 循環型社会
- 再生可能なエネルギーへの完全な転換



#### 人口動態変化と人類活動空間の広がり

- 国内の人口減少の進行と世界人口の急増
- 宇宙、海底などへの生活・活動空間の広がり



#### テクノロジーの進化

- AI、ロボットの活躍範囲の拡大
- 人の生命に関わる研究・技術の進歩
- 新たなエネルギーの開発と関連技術の発展
- 技術の進展・革新による新たなビジネスの創出



#### グローバル化と地域統合の進展

- 国境を越えた国家・地域間の結びつきの強化
- 商圏（市場）範囲の拡大
- 新興国の経済発展



#### 異なる属性の人間が尊重され、共存する社会

- ダイバーシティ&インクルージョン、ウェルビーイングの実現
- 個人と組織のパフォーマンスの最大化

### 2050年の当社グループを取り巻く経営環境

競争力を左右する高度な技術革新と多様な人材の活躍



#### 事業活動における地球環境への配慮

- 環境保護、社会貢献、経済成長を同時に達成
- 「企業の社会的責任」と「ビジネスの持続可能性」の両立



#### グローバル化と技術革新による新たなビジネスの発展

- 国内市場縮小に伴う積極的な海外進出
- 宇宙、海底などの新たな空間におけるビジネスの発展
- ライフサイエンスや新エネルギーに関わるビジネスの拡大と新たなビジネスの創出



#### より良い労働・職場環境の追求

- 多様な人材が活躍できる環境、育児や家事、介護をしながら働ける環境の構築
- AIや自動化技術、ロボットなどによる作業・事務の効率化と働き方の変革
- 健康、福祉、ワークライフバランスの重視



#### 社会的責任を重視した企業ガバナンスの確保

- 環境、社会、ガバナンスに配慮したESG経営の追求
- 透明性とコンプライアンスを重視した経営の実践

## 2050年の当社グループの理想とする姿

信頼され必要とされる企業であり続けるために



### 高度な独自技術により社会課題を解決

- 地球環境保全に関わる技術開発
- ライフサイエンスに関わる研究開発
- 新たなエネルギーに関わる技術開発 他



### 新たなビジネスへの挑戦

- アグリ、バイオ、医療など、研究開発に基づいた事業化
- デジタルを活用したビジネスイノベーション 他



### 海外での事業拡大

- 新たな国・地域への事業拡大
- 設備工事業以外での事業展開 他



### 働きがいのある仕事と職場の実現

- 多様な人材が尊重され共存する職場づくり
- 社員エンゲージメントの向上
- 社員の能力開発とキャリア形成 他



### 時代に即したガバナンスとブランドの強化

- コーポレートガバナンスの強化
- ブランド力の構築 他



# ASAHI-VISION 2050

スローガン

## ワクワクする未来をカタチに ~Imagination & Creativity~

ASAHI-VISION 2050

私たち朝日工業社は誠実さと高度な技術力を持って事業を行い、お客様や社会から信頼を得て100年にわたる歴史を積み上げてきました。そして、技術の革新や社会環境の変化がますます激しさを増すこれからの時代も、さらに信頼され必要とされる存在であり続けたいと思います。

そのために、当社グループは社員が「ワクワク」して能力を発揮でき、世の中を「ワクワク」させることのできる企業集団であることを目指します。乗り越えなければならない壁もあるかもしれませんが、『Imagination(想像力)』と『Creativity(創造力)』を武器に、「オール朝日」で一つ一つ『ワクワクする未来』を創造していきます。

当社グループは、『ワクワクする未来をカタチに』を本ビジョンのスローガンとし、理想とする2050年の姿を目指して積極的な挑戦を続けていきます。

# ビジョン実現に向けた6つの重点テーマ（マテリアリティ）

本ビジョン実現のために取り組むべき6つの重点テーマ（マテリアリティ）を定めました。

これらは、新たな企業理念体系における重点テーマ（マテリアリティ）でもあります。



## Materiality

1

世界をフィールドとし、  
チャレンジ精神と確かな技術で  
常にベストソリューションを提供



## Materiality

2

革新的な技術で  
新たな価値を創造し、  
社会課題の解決に貢献



## Materiality

3

脱炭素・環境負荷低減を通じて  
人・地球の最適な未来を創造



## Materiality

4

「人間尊重」を基本とし、  
社員のエンゲージメントを向上



## Materiality

5

共に成長発展していくための、  
戦略的パートナーシップを構築



## Materiality

6

ガバナンスの強化と  
ステークホルダーとの  
積極的な対話

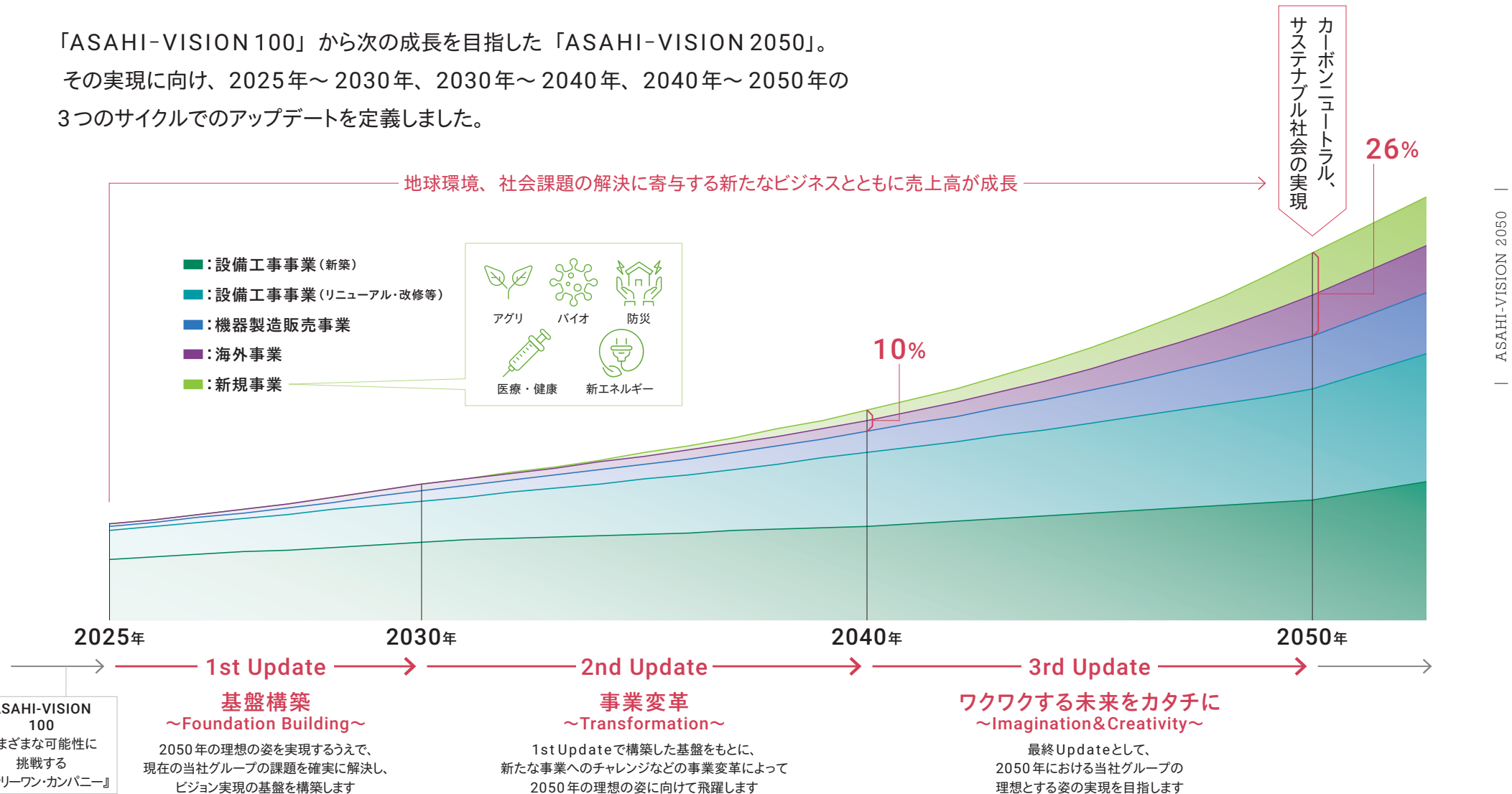


# Update

## ASAHI-VISION 2050実現に向けた3つのアップデート

「ASAHI-VISION 100」から次の成長を目指した「ASAHI-VISION 2050」。

その実現に向け、2025年～2030年、2030年～2040年、2040年～2050年の3つのサイクルでのアップデートを定義しました。



# ASAHI-VISION 2050 1st Update

## 基盤構築 ～Foundation Building～

本ビジョンのゴールである2050年に『ワクワクする未来をカタチ』にする企業集団であるためには、2025年から2030年の5年の間に現在の当社グループが持つ課題を解決していかなければなりません。

そのために、2030年までに実行すべきアクションを「“ワクワク”する事業であるためのアクション」「社員が“ワクワク”して活躍できるためのアクション」「“ワクワク”する会社であり続けるためのアクション」という3つの分類にまとめました。

情熱をもってこれらのアクションに取り組み、1st Update「基盤構築」に挑戦していきます。

|                           |                           |                                 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| “ワクワク”する事業 であるためのアクション    | 技術・研究開発と<br>新規事業開発への積極的投資 | 既存事業の強化                         |
|                           | 海外事業の展開                   | 生産性の向上                          |
| 社員が“ワクワク”して 活躍できるためのアクション | 人材の確保と育成                  | 社員エンゲージメントの向上と<br>コミュニケーションの活発化 |
| “ワクワク”する会社 であり続けるためのアクション | ブランド力の強化                  | 企業としての信頼の確保                     |



ASAHI-VISION 2050



#### 将来見通し等に関する注意事項

本資料における将来予想に関する記述につきましては、予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。